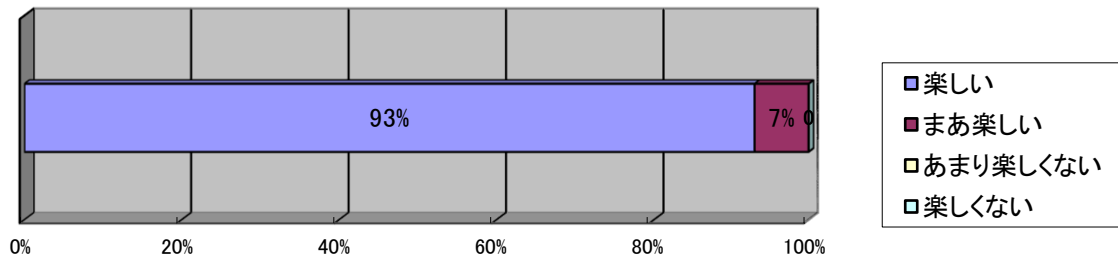


令和4年度特別の教育課程の実施状況等について

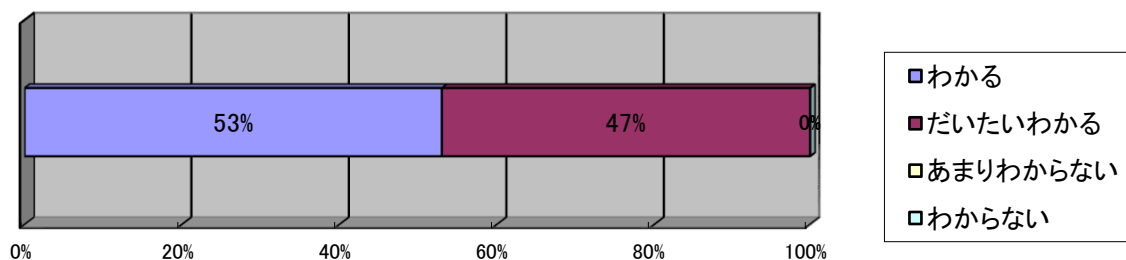
1 自己評価結果

令和4年度の1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか。」という質問に対し、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は全員だった（資料1）。また、「DVDの話はわかりますか。」という質問に、「わかる」、「だいたいわかる」と回答した児童も全員だった（資料2）。DVDの話はわかりますか（資料2）の問いに対する理由（資料3）から、絵やジェスチャーを頼りにして、DVDの内容を把握できる楽しさ、繰り返し学ぶことでわかる楽しさを児童が実感していることがわかる。このことから、DVDの視聴が有意義であることと、毎日の積み重ねによって身に付いていることが実証された。

児童アンケート【英語活動は楽しいですか】(資料1)



児童アンケート【DVDの話はわかりますか】(資料2)



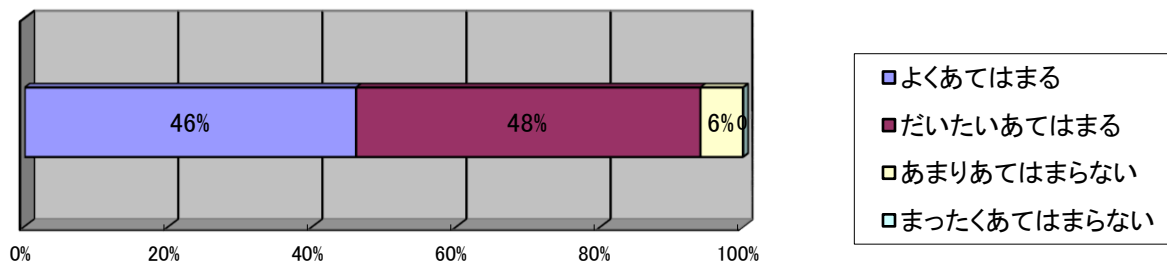
児童アンケート【「DVDの話はわかりますか」の問いに対する理由】(資料3)

- ・ジェスチャー（動き）があるからわかりやすい。
- ・リズムによって何度も発音すると楽しく、内容がわかってくる。
- ・絵や文字が出てくるからわかる。
- ・ぬいぐるみの劇が楽しく、わかりやすい。
- ・DVDを見ながら、友達や先生と一緒に発音するのでわかりやすい。

2 学校関係者評価結果

令和4年度に行った保護者向けアンケートの「学校は英語教育に力を入れている」という質問に対して、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した保護者は、全体の94%（資料4）で、児童向けアンケートの回答と若干のずれが見られる。要因として、熱心に英語活動に取り組む児童の姿が保護者に伝わっていないことが考えられるため、今後も英語活動の時間を大切にしつつ、保護者や地域の方に英語活動を楽しむ児童の様子を、ホームページや学校通信、学級通信などで発信していきたい。

保護者アンケート【学校は英語教育に力を入れている】(資料4)



3 まとめ

日々のDVD視聴を通して、児童は英語で話されている内容を概ね理解していると言える。しかし、学年が上がるにつれ、DVDの内容が「わかる」から「だいたいわかる」と回答する児童が増える傾向にある。今後も必要に応じて担任が内容を補足しながら、児童がより英語に親しめる活動内容の工夫をしていく必要がある。